

「黄鶴楼にて孟浩然の広陵へ之くを送る」
定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

唯_タ 孤 煙 故
 見_ル 帆_ノ 花 人
 長 遠_ノ 三 西_{ノカタ}
 江_ノ 影_ニ 月 辞_シ
 天 碧 下_ル 黄
 際_ニ 空_ニ 揚 鶴
 流_{ルルヲ} 尽_キ 州_ニ 楼_ヲ

黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る

- 問1 この作品の作者の名前を漢字で書きなさい。
- 問2 この漢詩の形式を答えなさい。
- 問3 訓読文をもとに、第一句を書き下しなさい。
- 問4 「故人」とは、どういう意味か、答えなさい。



問5 この作品では、「故人」とは誰のことをさすのか、人物の名前を書きなさい。

問6 故人はどこへ向かうのか、詩の中から抜き出して答えなさい。

問7 「黄鶴楼を辞し」とあるが、どういう意味か、次の中からもっとも適切なものを選び○で囲みなさい。

- ア：黄鶴楼から去って
- イ：黄鶴楼での仕事を辞めて
- ウ：黄鶴楼へ行くのをやめて
- エ：黄鶴楼であいさつをして

問8 作品の中で、【孟浩然】と【李白】はそれぞれどこにいるか。次の中ア～エからそれぞれ選びなさい。

- ア：西のかた
- イ：船の上
- ウ：黄鶴楼
- エ：揚州

【孟浩然】

【李白】

問9 訓読文をもとに、第二句を書き下しなさい。

問10 「煙花」の読みを答えなさい。



問 1 1 「煙花」とはどういう意味か答えなさい。

問 1 2 この作品の中の季節がいつなのか、読み取れる部分を漢字 4 字で答えなさい。

問 1 3 この漢詩が詠まれた季節を次の中から選び○で囲みなさい。

ア：早春

イ：晩春

ウ：初夏

エ：冬至

問 1 4 「孤帆」の読みを答えなさい。

問 1 5 「碧空」の読みを答えなさい。

問 1 6 「碧空」とはどういう意味か答えなさい。

問 1 7 「天際」とはどういう意味か答えなさい。

問 1 8 この作品の第四句に使われている表現技法を答えなさい。



問19 第三句と第四句から、孟浩然のどんな様子が読み取れるか。次の中から最も適切なものを選び○で囲みなさい。

- ア：長江の雄大さに目を奪われている様子
- イ：長江の流れの中にぽつんと船で浮かぶ孤独な様子
- ウ：長い旅路に力尽きている様子
- エ：青い空を見上げて涙を流している様子

問20 この作品の中で、李白のどんな様子が読み取れるか。次の中から最も適切なものを選び○で囲みなさい。

- ア：孟浩然に去ってほしくないと、涙を流している様子
- イ：長江の雄大さにひたすら感動している様子
- ウ：孟浩然が去りゆくのをずっと見送り続けている
- エ：黄鶴楼の中で、孟浩然と過ごした日々を思い起こしている

問21 この作品では押韻が使われている。韻を踏んでいる3つの文字を全て答えなさい。

問22 この作品のテーマを説明したもののうち、最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：大切な友人との別れることの悲しみ
- イ：長江の自然の雄大さ
- ウ：自然の中での人間の無力さ
- エ：人の命のはかなさ



「黄鶴楼にて孟浩然の広陵へ之くを送る」 定期テスト対策練習問題（解答）

問1 李白

【解説】李白は、杜甫とも並ぶ唐代の代表的な詩人。「詩仙」と称されている。

問2 七言絶句

【解説】4つの句からできている漢詩のことを「絶句」という。さらに、ひとつの句が7文字で作られているものを七言絶句という。

問3 故人西のかた黄鶴楼を辞し

問4 (例) 古くからの友人・古くからの親友

【解説】「古くから」と同じ意味の言葉と、「友人」と同じ意味の言葉を使っていればOK

問5 孟浩然

問6 揚州

問7 ア

問8 【孟浩然】イ
【李白】ウ



問 9 煙花三月揚州に下る

問 10 えんか

問 11 (例) 春がすみ・春のかすみ

問 12 煙花三月

問 13 イ

【解説】煙花とは、春がすみのこと。旧暦の三月は晩春にあたる。

問 14 こはん

問 15 へきくう

問 16 青空

問 17 空のはて

問 18 倒置法

【解説】本来ならば、「長江の天際に流るるを唯だ見る」という語順になるところを、倒置して「唯だ見る長江の天際に流るるを」となっている。

問 19 イ



問20 ウ

【解説】孟浩然が乗った船が見えなくなっても、名残惜しそうにただ長江と空だけが映る景色を、李白がそのままずっと見ている様子が伝わる

問21 楼・州・流

【解説】「押韻」とは、似たような音の文字で韻を踏んで、リズムを作ったり、印象を強くする表現技法。

問22 ア

【解説】李白は、孟浩然が去ってしまうのが寂しくて、ずっとその姿を見送り続けていることから、この漢詩の主題は「友人と別れることの悲しみ」である。

